

第29回 日本環境会議 島根大会のご案内

～「原発災害」のない社会をどうつくるか～

現代文明に警鐘を鳴らした福島原発事故から一年。「3・11」からの再出発は、東北だけの問題ではなく、これからの「国づくり」の基本に関わる問題です。その際の核心的課題は、食料、エネルギーと環境、国土構造のあり方などです。

日本環境会議は、「原発災害」のない社会をどうつくるか”をテーマに、今年度の全国大会を島根県松江市において開催いたします。開催地・松江市は原発のある唯一の県都です。また、農林業が重要産業である島根県では、県議会がTPP参加問題に異議を唱え、再生可能エネルギーへの取り組みも始まっています。

「原発災害」のない社会は、国民みんなの願いです。ドイツ原子力倫理委員会委員を務められたシュラース教授をお招きし、国際的視野から地域と日本の明日を語り合おうと思います。どなたも自由にご参加いただけます。ぜひ3月には島根でお会いしましょう。

日 程：2012年3月17日（土）13:30～17:00

18日（日）9:00～13:00

会 場：島根大学 教養棟1号館（島根県松江市西川津町1060）

内 容：シンポジウム：「原発災害」のない社会をどうつくるか

セッション1：日本の農林漁業・農漁村の岐路と再生～「原発災害」、TPPを超えて

セッション2：「原発災害」のない社会に向けて～「再生可能エネルギー」に取り組む

全体会：沖縄辺野古の米軍新基地建設に伴う環境影響評価について

※プログラムは裏面をご参照ください

資料代：一般500円、学生無料

主 催：日本環境会議（JEC）・JEC 島根大会実行委員会

島根大学法文学部山陰研究センター

後 援：日本弁護士連合会（予定）、日本生活協同組合連合会（予定）

日本自然保護協会（予定）、全国町並み保存連盟、他依頼中

事務局：〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学法文学部 上園昌武

Tel/Fax：0852-32-6137 E-mail: uezono@soc.shimane-u.ac.jp

第29回 日本環境会議 島根大会 プログラム

(2012年1月25日現在)

大会テーマ: 「原発災害」のない社会をどうつくるか

第1日目		2012年3月17日(土) 島根大学教養棟1号館
タイムテーブル	内容	会場
12:00~13:00	JEC理事会	102教室
12:30~	開場・受付開始	1号館玄関ホール
13:30~13:45	開会セレモニー	大学ホール
13:45~15:10	全体会 ◎特別講演:「なぜドイツでは脱原発を決定できたのか」 講師 ミランダ・A・シュラーズ(ベルリン自由大学教授) ◎基調報告:「福島原発災害から学ぶ脱原発社会」 講師 長谷川 公一(東北大学教授)	大学ホール
15:10~15:30	(休憩:20分)	
15:30~17:00	シンポジウム:「原発災害」のない社会をどうつくるか コーディネーター:吉田 文和(北海道大学教授) 報告①:「島根原発のあり方を考える」 上園 昌武(島根大学教授) 報告②:「福島原発災害以降の日本のエネルギー政策の動向」 植田 和弘(京都大学教授) 特別報告:「福島における被害実態調査の中間報告」 除本 理史(大阪市立大学准教授) (総合討論) パネリスト:ミランダ・A・シュラーズ、長谷川 公一、上園 昌武、植田 和弘	大学ホール
17:10~17:50	日本環境会議会員総会	大学ホール
18:20~20:20	交流懇親会	松江東急イン

第2日目		2012年3月18日(日) 島根大学教養棟1号館
タイムテーブル	内容	会場
9:00~11:50	テーマ別セッション	
9:00~11:50	<セッション1> テーマ:日本の農林漁業・農漁村の岐路と再生 ~「原発災害」、TPPを超えて コーディネーター:山下 英俊(一橋大学准教授) 報告①:「宍道湖環境保全のための流域の森づくり10年」 竹下 幹夫((財)宍道湖・中海汽水湖研究所事務局長) 報告②:「離島発!地域再生への都市との連携」 大江 和彦(島根県・海士町産業創出課長) 報告③:「地域連携を支える法制度」 磯野 弥生(東京経済大学教授) 報告④:「地域連携を支える資金・財政メカニズム」 寺西 俊一(一橋大学教授)	101教室
9:00~11:50	<セッション2> テーマ:「原発災害」のない社会に向けて ~「再生可能エネルギー」に取り組む コーディネーター:植田 和弘(京都大学教授) 報告①:「島根原発の危険性」 芦原 康江(さよなら島根原発ネットワーク事務局) 報告②:「木質バイオエネルギーと地域づくり」 狩野 宏(NPOフォレストアカデミージャパン副理事長) 報告③:「地中熱を利用した環境共生住宅の環境ビジネス」 橋本 真成(株式会社ジオパワーシステム代表取締役)	102教室
11:50~12:00	(休憩・会場移動)	
12:00~12:50	全体会 ◎特別報告:「辺野古アセスの問題点~意味ある応答を~」 原科 幸彦(東京工業大学教授) 「コメント」 宮本 憲一(大阪市立大学名誉教授)	102教室
12:50~13:00	閉会総会 大会宣言・特別決議 提案と採択 閉会の辞	102教室